



経済産業省の令和元年度戦略的基盤技術高度化支援事業 (通称「サポイン事業」)に4件採択されました

(公財)長野県テクノ財団は、経済産業省の令和元年度戦略的基盤技術高度化・連携支援事業～戦略的基盤技術高度化支援事業～(通称「サポイン事業」)に事業管理機関[※]として提案し、このたび4件が採択されました。これにより、当財団が事業管理機関として実施するサポイン事業は、継続案件を含め9件となりました。

1 内容 (公財)長野県テクノ財団では、県内企業の産学官連携研究開発を支援するため、裾野産業の技術向上につながる研究開発や販路開拓を支援する経済産業省の補助事業「戦略的基盤技術高度化支援事業(以下、サポイン事業という)」の活用を進めております。今回、令和元年度のサポイン事業へ事業管理機関として応募した結果、以下の案件が採択となりました。

今後、各研究開発プロジェクトの共同体構成員(企業、大学、公設試など)と共に研究開発成果の創出に向けて、最大3年間事業を推進してまいります。

2 採択案件一覧(詳細は別紙参照)

- ・これからのEV社会に向けたパワー半導体向け革新的研磨装置の開発
- ・半導体製造工程でパーティクルフリーを実現する高速厚膜SiCコーティング技術の開発
- ・産業設備、インフラ、車両等の無線によるIoT化を実現する小型ハーベスティングセンサーとデータ処理システムの開発
- ・軸姿勢検出機能を有する中空大型の3D高機能ロータリエンコーダの開発

また、サポインの詳細については、下記URLを参照ください。

<https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/sapoin/index.html>

※戦略的基盤技術高度化支援事業における事業管理機関とは、研究開発計画の運営管理、共同体構成員相互の調整を行うとともに、研究開発成果の普及等を主体的に行う者です。

公益財団法人長野県テクノ財団
(事務局長)倉島 浩 (担当)久保 政憲
電話 026-226-8101
FAX 026-226-8838
E-mail techno@tech.or.jp

(別紙)

研究開発計画名	研究概要	参画機関	長野県テクノ財団 担当セクション
これからのEV社会に向けたパワー半導体向け革新的研磨装置の開発	電気自動車（EV）の普及に向けSiCパワーデバイスの量産化と低コスト化が求められている。本研究では、従来の加工工程に代わり、熔融アルカリエッチングを援用した両面加工では、ひずみの無い平行平面ウェハの生産技術を、電解加工と電界砥粒制御を援用した仕上げ研磨では、高レートかつ高品位なスクラッチフリーウェハの生産技術を確立し、大口径に対応した実用装置を開発することで大幅な生産性向上を実現する。	不二越機械工業株式会社（長野市） 国立研究開発法人産業技術総合研究所 国立大学法人埼玉大学 秋田県産業技術センター 公益財団法人長野県テクノ財団	善光寺バレー 地域センター
半導体製造工程でパーティクルフリーを実現する高速厚膜SiCコーティング技術の開発	半導体の製造工程で管理必要な不純物質（パーティクル）の最小寸法は、2022年に5nmと厳しい値が規定されており、パーティクルフリーの大型SiCセラミックスのニーズが半導体製造装置メーカーから寄せられている。本提案では、SiCセラミックス上においてパーティクルの原因となるポアを液相ベースコーティング法にて高速コーティングすると共に、抵抗率を制御した多結晶膜の高速厚膜成長を実現する技術の開発を行う。	アスザック株式会社（高山村） 国立大学法人信州大学 公益財団法人長野県テクノ財団	善光寺バレー 地域センター
産業設備、インフラ、車両等の無線によるIoT化を実現する小型ハーベスティングセンサーとデータ処理システムの開発	センサー情報を無線伝送し、IoT化を進めるデバイスとしてセンサータグがあるが、既存品は、配線、電源、通信方法に多くの課題を抱えている。本提案では、航空機向け金属RFIDタグを開発した技術を応用し、自己発電動作し、配線不要で、どこでも設置可能な、小型・省電力センサータグの開発を行う。さらに、情報収集・分析の自動化可能なシステムを構築し、IoT/AI技術や安全確認用途に貢献するものを開発する。	日本ミクロン株式会社（岡谷市） 国立大学法人信州大学 長野県工業技術総合センター 公益財団法人長野県テクノ財団	諏訪テクノレイクサイド 地域センター
軸姿勢検出機能を有する中空大型の3D高機能ロータリーエンコーダの開発	大口径・中空構造の光学式円筒面スケール及び磁気式歯車型スケールを製作し、且つ回転軸の周方位と軸方位の変位を検出する光学式及び磁気式センサの開発により、回転軸の回転角度、XY変位、Z変位、傾きを測定演算し、各変位情報信号として出力する3Dロータリーエンコーダを実現する。このエンコーダは、回転テーブルや工作機械に搭載され、大型一体部品の加工精度向上に寄与する。	エ・モーションシステム株式会社（東京都） 多摩川精機株式会社（飯田市） 国立研究開発法人産業技術総合研究所 公益財団法人長野県テクノ財団	伊那テクノバレー 地域センター